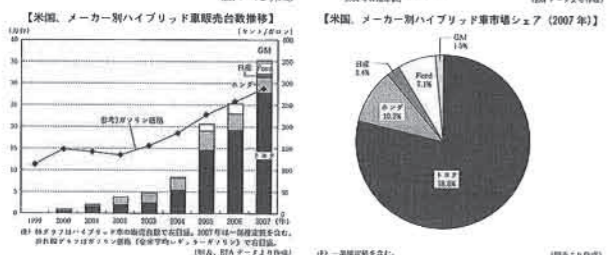
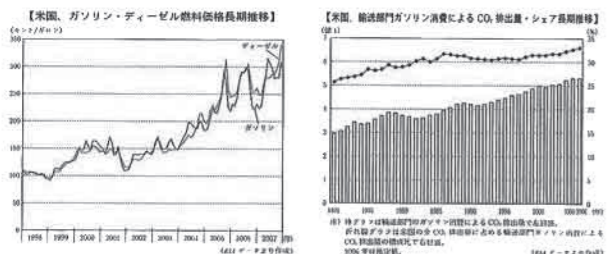


2. CAFE 基準強化で加速する各社の燃費低減戦略

米国では、2007年12月、自動車の燃費基準であるCAFE(企業平均燃費: Corporate Average Fuel Economy)の引き上げを食むエネルギー産業が議会でも可決され、大統領により承認された。米国は輸入石油への依存度を低減するという国家のエネルギー戦略上CAFE規制を定めているが、原油価格が低水準にあったことから、2000年代半ばまでは、CAFE基準値の引き上げが見送られてきた。しかし、原油価格が1バレル100ドルを突破する水準まで高騰した今日では、消費者のニーズが変化し、燃費への関心が高まっている。燃費規制対応で焦点となる各社のハイブリッド車戦略を比較

このようにCAFEの引き上げに強固に対処してきた米国Big3も、2000年頃から燃費引き上げへのロビー活動を停止し、規制強化を受け入れられる姿勢に転じた。小型乗用車やハイブリッド車の市場が拡大するなど、消費者のニーズも変化している中、差別を続けられれば、企業イメージが低下するほか、さらなる販売不振を招くためである。規制への対応を図るため、各社とも燃費低減技術の搭載を拡大する見通しであり、パワートレイン技術や軽量化技術は今後、米国市場における製品競争の最大の焦点となる。



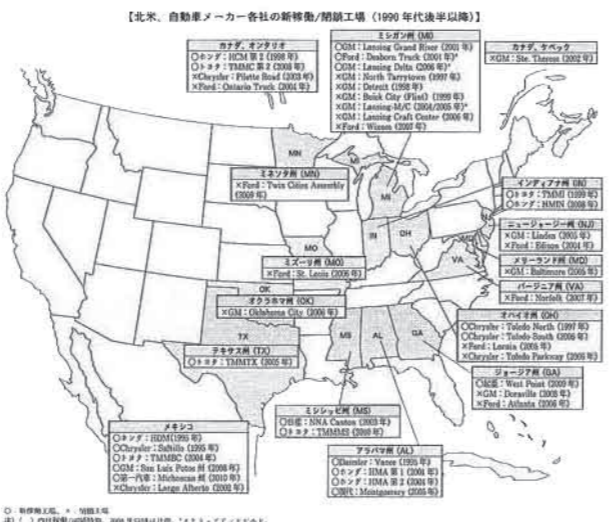
FOURIN 北米自動車産業 2008

「総論 CAFE基準強化で加速する各社の燃費低減戦略」より

北米では、米国ミシガン州及びその周辺の米国北部とカナダで産産している生産が伸び傾向が強い一方、米国南部とメキシコで新拠点設立や能力増強が目立ち、自動車生産の南方拡大が顕著となっている。1990年代後半から近年にかけて、ミシガン州やその周辺の米国の北部地域ではGMやFordの工場閉鎖が目立ってきた。カナダは2007年後半にカナダドルが米ドルに対し高騰したため、米国への輸出採算の悪化が懸念されている。さらにBig3がUAWとの労使協約更新(2007年9月-11月)において、米国内で完成車生産拠点の追加閉鎖や売却を行わないことをUAWに公約していることもあり、今後Big3が増産を計画しても米国内工場を優先する可能性が高く、カナダ国内全体の小型自動車生産台数回復につながらない可能性がある。一方、米アラバマ州やミシシッピ州など米国内の北部地域に比べ比較的人件費が低い南部地域では、日、独、韓国メーカーの新工場設立が活発である。またメキシコでは、VW、日産、トヨタ、ホンダの各社が生産能力の拡大を計画している。

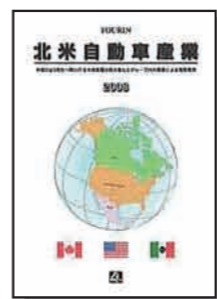
米国メーカーの生産能力縮小均衡と日欧韓メーカーの拠点展開を図解

Big3の生産能力の低下を補うべく、日欧韓メーカーは北米市場で需要増減に柔軟に対応できる生産体制を確立しつつあるが、販売が回復しない限り生産規模が縮小の一途を辿る可能性が高い。2007年に日産と現代がケタラや生産調整を実施。トヨタは米ミシシッピ新工場の稼働時期を当初計画よりも1年先延ばしし生産能力を5万台縮小するなど、Big3の減産の一方で増産や能力拡大を続けてきた日米メーカーなどの拡大ペースが今後減速する可能性があり、北米自動車生産規模の回復にはBig3の増産が不可欠である。



FOURIN 北米自動車産業 2008

「第1章 北米自動車産業動向」より



北米自動車産業 2008

米国Big3再生へ問われる中核車種技術の強化とグループ内外提携による開発補完

- 縮小均衡により経営再建を目指す米国Big3の最新経営動向を詳細に分析
インセンティブに依存しない販売へ、製品・ブランドを強化する各社の戦略を報告
CAFE基準引き上げで加速する各社の燃費低減戦略を比較
拡大続く日本・欧州・韓国メーカーの北米事業動向をレポート

体裁: A4判、349頁 価格: 140,000円+税、国内送料込 発刊: 2008年1月

1,700万台弱の水準が続いていた米国の自動車市場(中・大型トラック除く)は、2006年に1,650万台と1999年以降で最低水準に後退、2007年は経営再建に向けたGM、Ford、Chryslerのフリート販売抑制やインセンティブ縮小に加え、住宅価格下落による経済先行きへの不安などが影響して1,608万台へとさらに縮小しました。2008年は1,600万台割れが濃厚と予想されていますが、米国が単一国として世界最大の自動車市場であることには変わりはなく、人口増加やコンスタントな代替需要の発生による底堅い需要があり、景気動向によっては2009年以降、1,600万台超へ回復する可能性は十分にあります。

米国3社には、日・欧・韓メーカーに侵食された同市場でどれだけシェアを回復できるかが問われており、それに向けて各社とも労使協約更改でコスト競争力向上を目指すほか、乗用車やクロスオーバー(CUV)の製品開発・投入を強化。特にGMは世界的な経営資源をフル活用してトップメーカーとして製品・技術面の競争力回復を進めています。

『北米自動車産業2008』は、米国3社の経営再建、製品競争力の回復に向けた取り組みなどを分析するほか、北米自動車産業・市場の全体像を把握する上で役立つ情報を取りまとめており、北米の自動車業界に携わる方々の経営戦略策定などに参考資料としてお役に立てるものです。

本案内書をご高覧の上、関係部署ともご相談の上、採用賜りますようお願い申し上げます。

申込方法

当調査報告書は書店では取り扱っておりません。お申し込み、お問い合わせは、申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送下さい。またE-mail (info@fourin.jp) による受付も行っております。

世界自動車産業の調査・研究・資料出版



〒464-0025 名古屋千種区桜が丘292 一ビル TEL: 052-789-1101 FAX: 052-789-1147 http://www.fourin.jp E-mail: info@fourin.jp

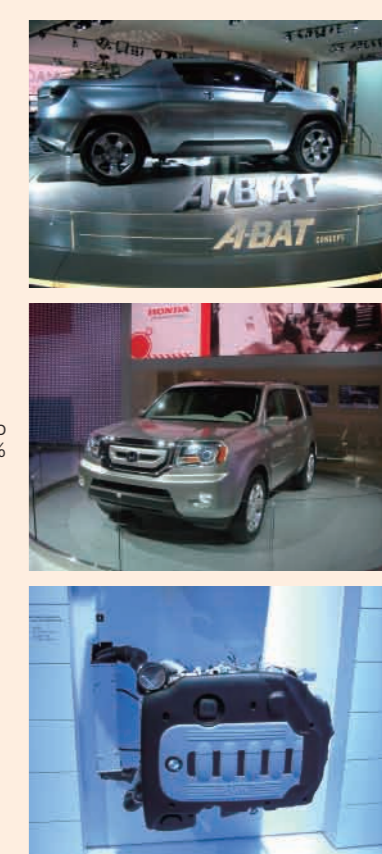
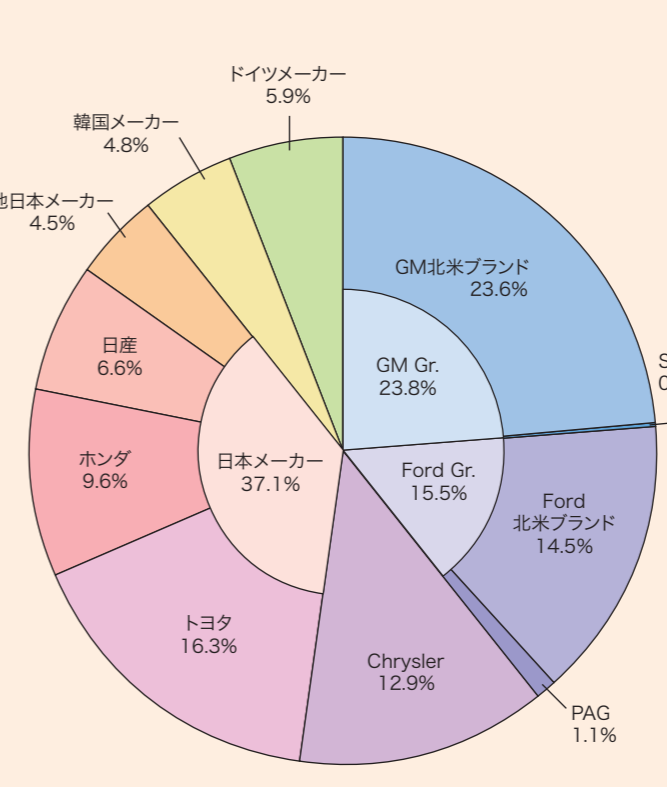
申込書 北米自動車産業 2008 (HP) 価格 140,000円+税 (国内送料込み)

(株)フォーイン 行 Fax: 0120-0000-73

Form fields for company name, address, phone number, and email address.



2007年米国小型自動車市場シェア



(FOURIN)

